

教科	家庭科	科目	家庭基礎	単位	2
----	-----	----	------	----	---

1. 学習内容と目標

家庭基礎では、生活面で「自立」し、異なる世代の人々と「共生」する意識を持ち、自分らしい「生活」を創造するために学習します。内容は、衣生活、食生活、住生活、家族、保育、高齢者、消費生活などです。家庭科の学習は、実生活に結びつくものばかりです。自分の生活を振り返ったり、将来のことを想像したりしながら、よりよく生きることについて考えましょう。

2. 使用教材

教科書『家庭基礎』（東京書籍）

3. レポート

回数	内容
1	家族・社会の共生①
2	家族・社会の共生②
3	家族・社会の共生③/生活の自立①
4	生活の自立②
5	生活の自立③
6	生活の自立④/生活の創造

4. 学習の進め方について

教科書を使って、レポートを解きましょう。レポート内容で分からないところがあれば、遠慮なく質問してください。また、家庭科は生活での実践が大切です。レポートの内容を、ぜひ生活の中で実践し、生活をよりよいものにしていきましょう。

5. 評価について

評価は、試験成績と平常点（レポートの成績、実技成績、学習態度等）を以下の観点をもとに総合して100点法で行い、30点以上を合格とする。

〔知識・技能〕

生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて科学的に理解しているとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身につけている。

〔思考・判断・表現〕

生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。

〔主体的に学習に取り組む態度〕

様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を伝承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。

6. スクーリング